

信州 災害伝承 カード

SAIGAI DENSHOU CARD

GUIDE BOOK

ガイドブック



牛伏川本流水路(牛伏川階段工)／松本市



「自然災害伝承碑」



「自然災害伝承碑」の例(木曽町「災害を忘れぬ石」)



「自然災害伝承碑」のアイコン

「自然災害伝承碑」とは

「自然災害伝承碑」とは、過去に発生した自然災害(洪水、土砂災害、高潮、地震、津波、火山災害、豪雪、雪崩など)の教訓を後世に伝えようと、先人たちが残した石碑やモニュメントのことです。

当時の被災状況を伝えると同時に、その多くは当時の被災場所に建てられていることから、その教訓や情報を地図に掲載してわかりやすく伝えることで、地域住民の方々の防災意識の向上につなげ、さらには被害の軽減に役立つことが期待されています。

地図で「自然災害伝承碑」を探してみよう

国土地理院は2019年に新たに「自然災害伝承碑」の地図記号を制定し、ウェブ地図「地理院地図」で公開を開始しました。「地理院地図」上での「自然災害伝承碑」のアイコンをクリックすると、写真・碑名・災害名・災害種別・建立年・所在地・伝承内容を見ることができます。

長野県内では70基以上の「自然災害伝承碑」が掲載されており(2022年12月時点)、年々掲載数は増えています。

地図を確認して、過去の教訓から、身近な地域でどんな災害が起こりうるのかを知っておきましょう。

国土地理院 自然災害伝承碑について

<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>



「長野県立歴史館」へ

行ってみよう!



信濃の歴史をみて、ふれて、 体感できる「長野県立歴史館」

長野県立歴史館は、考古資料、歴史資料などの収集、保存、研究及び展示などを行い、文化財への親しみと理解を深めるための歴史学習活動を支援できる施設として、1994年に建設されました。長野県の歴史全般を知ることができる施設で、常設展示室をはじめ、企画展示室、閲覧室、講堂などがあります。

常設展示室は原始から現代までたどれる展示で、ナウマンゾウ、縄文のムラ、鎌倉時代の善光寺門前、江戸前期の農家、明治初期の製糸工場など、時代ごとの人びとの生活を体験できるようになっていて、臨場感あふれる実物大の展示が楽しめます。



長野県立歴史館外観

長野県立歴史館

<https://www.npmh.net/>



過去の災害や伝承を伝える取り組み

過去の災害、伝承、地名などに関する多くの文献や資料が歴史館にはあります。

長野県立歴史館と長野県建設部砂防課では、共同の取り組みとして、歴史館所蔵の「長野県明治初期の村絵図」の一部を活用した「過去の災害に学ぶページ」を開設しています。



Webサイト「過去の災害に学ぶページ」

過去の災害に学ぶページ

<https://www.pref.nagano.lg.jp/sabo/manabu/manabu.html>



【住】〒387-0007 長野県千曲市大字屋代260-6(科野の里歴史公園内)
【TEL】026-274-2000(代表)
【交】電 車/しなの鉄道屋代駅または屋代高校前駅から徒歩25分
バ ス/高速道路バス停「上信越道 屋代」より徒歩3分
自動車/長野自動車道更埴インターチェンジから車5分
【時】3月~11月:9時~17時 12月~2月:9時~16時
【休】毎週月曜日(祝日、振替休日にあたる場合は火曜日)と祝日の翌日、年末年始



災害伝承カード 🔍 で検索!!

発行：長野県建設部砂防課 〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下692-2 長野県庁本館棟7F
TEL.026-235-7315 FAX.026-233-4029

監修：長野県立歴史館 〒387-0007 長野県千曲市大字屋代260-6(科野の里歴史公園内)
TEL.026-274-2000 FAX.026-274-3996

後援：長野県治水砂防協会

※表紙の写真:(上)原村「阿弥陀岳」©原村
(左下)山ノ内町「大蛇祭」©山ノ内町
(右下)飯田市「お練りまつり」©飯田商工会議所

災害伝承
カード一覧



信州砂防
情報マップ



長野県建設部
砂防課

